

当社運航船「HELIOS」、海外初となる船用バイオ燃料の補油を香港で実施 ～次世代環境燃料「B24」の採用と実証航行により、外航海運における脱炭素化を推進～

川崎近海汽船株式会社（以下「当社」）は、2026 年 8 月 21 日（金）、香港の South Lamma Anchorage において、大手船用燃料サプライヤー兼トレーディング企業・Chimbusco Pan Nation（CPN）・協力のもと、当社運航のばら積み船「HELIOS」へ船用バイオ燃料の補油を実施し、愛知県衣浦港に向け実証航行を開始いたしました。当社運航船における海外港湾でのバイオ燃料補油は、初の取り組みとなります。

国際海事機関（IMO）による温室効果ガス（GHG）排出規制や CII（燃費実績格付け）制度の導入に伴い、海運業界では環境対応への迅速な取り組みが急務となっております。当社は最重要課題として脱炭素化を掲げ、アジアにおける主要補油拠点である香港にて調達ルートを構築いたしました。本実証は、実際の運航における供給手順の確立ならびに安全性・CO₂削減効果の検証を目的として実施したものです。



【 当社運航船「HELIOS」 】

1. バイオ燃料（B24）の特長と CO₂削減効果

今回補油を実施した「B24」は、持続可能な有機資源（FAME）24%と低硫黄重油（VLSFO）76%の混合燃料となります。最新規格「ISO 8217:2024」に適合しており、既存エンジンを改造することなく即座に使用できる特長を有しております。

NEWS LETTER

項目	仕様および環境価値
使用燃料・補油量	・ B24 燃料 (FAME 24% + VLSFO 76%) ・ 補油量 : 99.97 metric tons (MT)
技術・原料特性	・ 食料や飼料と競合しない再生可能資源 (バイオマス等) を使用 ・ 既存の内燃機関を変更することなく使用が可能
CO ₂ 削減効果	・ 本バイオ燃料に含まれる FAME (脂肪酸メチルエステル) は、原料栽培から最終利用に至るライフサイクル全体で、従来の化石燃料に比べ約 84% の CO₂削減効果が見込まれます。 ・ 今回の補油量により、約 78.5t- CO₂ の純削減が見込まれる見通しです。

2. 今後の展望

当社グループは「グループ連携による投資規律と環境対応の両立、2050 年ネットゼロ達成」を基本方針に掲げております。IMO の 2030 年目標 (CO₂排出効率 40%改善) や国土交通省の内航 2040 年目標 (36%改善) を見据え、今後も代替燃料導入と技術活用を進め、持続可能な海上輸送の実現に貢献してまいります。

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

川崎近海汽船株式会社 経営企画部

TEL : 050-3821-1447